

ブース紹介：研究科プロジェクト「人間社会に笑いが存在する理由」

プロジェクト概要：

古代ギリシャの哲学者アリストテレスはかつて、「人間とはポリスの動物である」と述べました。しかし彼はこの言葉に代えて、「人間とは笑う動物である」と定義することもできたでしょう。事実、笑いは人間社会をうつす鏡といっても過言ではありません。こうした問題意識のもと、本プロジェクトでは、ユーモアに関する学際的研究を通じて人間本性の解明を試みています。今回はその研究の一部をご紹介します。

発表プログラム：

14:00～14:20 小原 湊斗 (心理学・前期博士過程2年)

- 心理学とユーモアの価値

14:20～14:40 新居 佳子 (UCRC 研究員)

- 自己卑下提示による「笑かし」

14:40～15:00 佐金 武 (哲学・講師)

- ユーモアはなぜ哲学の問題になるのか

15:00～15:20 高野 保男 (哲学・前期博士過程2年)

- 「絶対に笑ってはいけない」を考える

15:20～15:40 大畑 浩志 (哲学・前期博士過程2年)

- カーニヴァル〈祝祭〉の笑い

15:40～16:00 小原 湊斗 (心理学・前期博士過程2年)

- 心理学とユーモアの価値

16:00～16:20 新居 佳子 (UCRC 研究員)

- 自己卑下提示による「笑かし」